

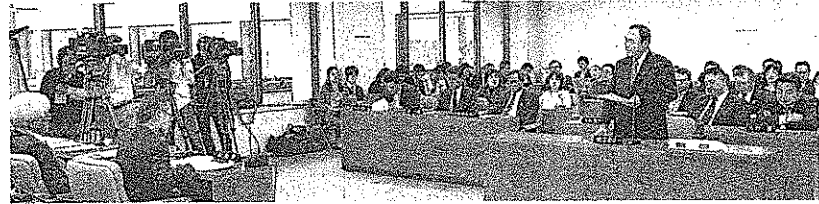
# 再稼働「議論重ねた」

12/17 福井

## 各会派、賛否出そろった

## 国民理解求める声

## 県会きょう同意



## 高浜原発

関西電力高浜原発3、4号機の再稼働をめぐる、県会では16日の全員協議会で、各会派が再稼働に対する意見を表明し、賛否が出そろった。仲倉典典議員は「今までの中で最も丁寧な議論を重ねてきた」と公明党会を総括し、閉会日の17日に県会としての意見を表明すると強調した。ただ、原発をめぐる世論が二分する中、各会派からは「国民理解を進めることが重要」と、国や県に取り組みを強く求める意見が相次いだ。

【公明党（1人）】西本恵一議員  
▽安全対策を着実に厳格に行うことを強く要望する▽知事が示した5条件のうち、国民に原子力の理解を進めるための国の動きが見えない。政府はさまざまな方法で強いメッセージを発することが求められる。知事も、再稼働に同意する場合、5条件の回答を含め、県民の理解を進めるための説明を行うべき▽知事の判断を尊重する。

【希望ふくい（1人）】井ノ部航太議員  
▽高浜町は高浜原発3、4号機の再稼働に同意しており、知事は速やかに再稼働を判断すべき▽原発は本県の財政に貢献しており、福島の基幹産業。地域経済の落ち込みを放っておけない▽福島原発事故後、（本県の原発などは）世間の厳しい評価にさらされた。再び誇りを持って仕事をし、技術を成長させなければならぬ。

【共産党（1人）】佐藤正雄議員  
▽福島原発事故の被害が続く中で、再稼働に反対する▽知事は一般民間で福井県民の理解は進んでいると喜んだ。だが県内外30万人分の反対署名が知事に提出され、敦賀市と美浜町、嶺北では52%が反対との世論調査データもある▽原子炉容器内の燃料棒が溶け落ちて安全なのか、県原子力安全専門委に再度審査を求めるべきだ。

【無所属（1人）】細川かをり議員  
▽この10年あまりだけでも、4カ所の原発で基準地震動を超える地震が5回起きている。高浜原発の地震想定だけが信頼できると誰が言えるのか▽原発停止の影響は約1兆円で日本のGDPの0.2%。これで当面の安全が図られるなら、決して高いコストではない▽福井県民の生命と財産を守るため、再稼働に反対する。

【民主・みらい（5人）】野田富久議員  
▽高浜原発3、4号機の再稼働は判断できる環境になく慎重に対応すべき▽知事が再稼働の条件に上げている国民理解は得られていない▽使用済み燃料の中間貯蔵施設などは県外設置の見通しがたっていない▽再稼働問題だけでなく、運転延長、廃炉、高速増殖炉もんじゅなど核燃料サイクル全体の課題に真摯に向き合うべき。

【自民党県政会（26人）】田中宏典議員  
▽広域避難計画は住民が安心するための大きな材料になる。さらに充実していくよう、努力を重ねる必要がある▽11月末の全国知事会場で、安倍首相が「再稼働以外にも多岐にわたる問題がある。政府一体となって着実に取り組む」などと述べた。強い覚悟が十分に表現されている▽再稼働は必要。手続きを進めるべきだ。

山岸猛夫議員  
▽わが会派は6月に視察し、議会でも新規制基準の適合性審査を確認してきた▽原子力政策を進めるには国民の理解が不可欠であり、政府や事業者は、立地地域と周辺地域の住民の安全確保と不安、不信の払しょくに努めるべき▽資源の乏しい日本は原発なしでは成り立たない。県は今議会の議論を踏まえ、再稼働を判断する時期にきている。

会）から、現地を視察し、関係者への担当者を呼んで安全対策や原子力政策を何層も確認するなど、さまざまな角度から議論を深めてきた。

【自民党県政会も希望ふくいの井ノ部航太議員が述べた「原発は現時点で温室効果削減に最も有効」との主張は、地球温暖化問題など国や世界の情勢を俯瞰してのものだ。

再稼働反対の立場に立った無所属の細川かをり議員も、福島事故の被災地に足を運ぶなど、復興や損害賠償の問題に苦しむ人々の現状を鑑みたと意見を表明した。

一方、原発に対する国民理解や県民理解が十分との意見は、賛否を超えて各会派から出された。「国がどのように国民理解を進めるのか、具体的な動きが見えてこないと、県民の理解が不十分との意見は、賛否を超えて各会派から出された。

16日に開かれた県会の全議員協議会に、西川知事は欠席した。菅義偉官房長官が政府要人と面談するをめぐっては、各会派から「議会軽視」と非難する声が上がった。

全議長の議長を務める仲倉典典議員は「知事は再三にわたって出席要請に応じなかった。この異常な事態は極めて遺憾。会期中はいかなる理由でも、議会の日程を優先して出席してほしい」と述べた。

## 知事欠席に非難の声 「議会軽視」極めて遺憾

16日に開かれた県会の全議員協議会に、西川知事は欠席した。菅義偉官房長官が政府要人と面談するをめぐっては、各会派から「議会軽視」と非難する声が上がった。

全議長の議長を務める仲倉典典議員は「知事は再三にわたって出席要請に応じなかった。この異常な事態は極めて遺憾。会期中はいかなる理由でも、議会の日程を優先して出席してほしい」と述べた。

各会派の代表者からは「高浜原発3、4号機の再稼働は、多くの国民が注目している。欠席は知事が逃げたといわれたい仕方がない」（自民党県政会）と述べた。

西川知事は1日の本会議で「本会議での議論を十分承った上で（再稼働について）県民に信頼される判断をした」と述べた。

再稼働反対の立場を表明した無所属の細川かをり議員は、杉本副知事に対して「万機公論に決すべき（政治は世論に従って決定すべき）」と、知事にお伝え下さい」と述べた。

西川知事は1日の本会議で「本会議での議論を十分承った上で（再稼働について）県民に信頼される判断をした」と述べた。

国民理解を進めることは重要で、さらに国民に訴える」と述べ、県としても県民理解に向けて「広報を十分に行っている」と強調した。

一人会派からも、希望ふくいの井ノ部航太議員が「考えを伝える相手である西川知事がいないことに強い遺憾の意を表する」、共産党の佐藤正雄議員が「議会を軽視する」ということは県民軽視だと指摘した。

政治の山岸猛夫会長、「知事は議会の議案を放棄して上京した。極めて遺憾」（民主・みらいの野田富久会長）と批判が相次いだ。